

月額顧問料の目安 (顧問契約を締結した場合)

顧問契約を締結する場合、月額顧問料は**3~5万円**とすることが多いようですが、**10万円**とすることがあります。月額顧問料に含まれる業務の範囲は、顧問契約の内容により異なります。一定の時間を超えるような場合等、月額顧問料とは別に相談料等の支払いが必要になる場合もありますが、電話やメール等ですぐに回答できる内容のものであれば、時間にかかわらず顧問料の範囲とされることもあります。顧問契約の作成にあたっては、弁護士から、月額顧問料の範囲内の業務や月額顧問料の範囲を超える場合の扱いについて、よく説明を受けて確認してください。

詳しくは…

アンケート結果に基づく中小企業のための弁護士報酬の目安

http://www.nichibenren.or.jp/ja/attorneys_fee/data/smeguide.pdf

弁護士を探すなら…

第二東京弁護士会 弁護士紹介センター

03-3581-2380

受付時間▶月~金(祝日・年末年始を除く)午前10時~午後5時

弁護士情報提供サービス ひまわりサーチ

http://www.bengoshikai.jp/search_area.html

取扱業務、重点取扱業務から検索することができます。

外国語能力等詳細な条件での検索も可能です。

日本弁護士連合会 ひまわり中小企業センター

0570-001-240

受付時間▶月~金(祝日を除く)午前10時~午後4時(正午から午後1時を除く)

第二東京弁護士会

〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3弁護士会館9F TEL.03-3581-2255

弁護士をお探しの
経営者・人事担当の
皆さまへ

女性弁護士を
活用してみませんか?

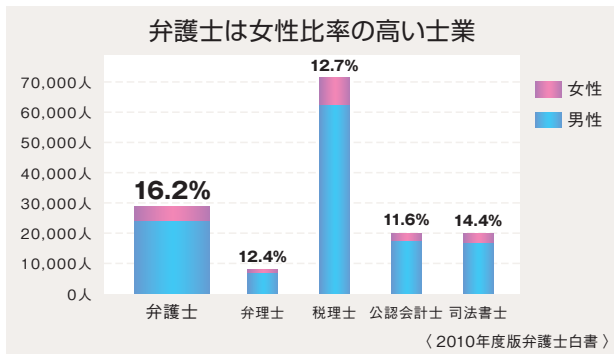


女性弁護士も企業の心強い味方です。

第二東京弁護士会

意外という女性弁護士

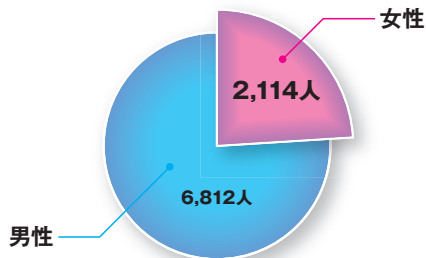
～ 全国で4,660人の女性弁護士がいます ～



身近な女性弁護士

～ 女性弁護士は20年間で6倍に増えました ～

30歳代の弁護士の24%が女性

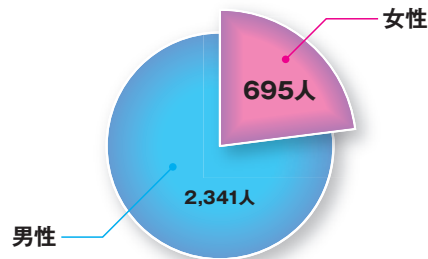


1990年からの20年間で、男性弁護士の数が1.85倍となったのに対し、女性弁護士の数は6倍になりました。そのため、若い年代ほど女性の比率は高くなっています。

(2010年度版弁護士白書)

企業法務にも強い女性弁護士

中・大規模事務所^{*}弁護士の23%が女性 *弁護士30人以上
(2010年度版弁護士白書)



企業法務を幅広く扱う傾向のある、規模の大きい事務所では、女性弁護士が活躍しています。また、**企業内弁護士の36.6%は女性**です。

(2008年度版弁護士白書)

なぜなの？

それは…

女性弁護士活用のメリット

- ✓ 企業の社会的評価の向上
- ✓ 社内外のコミュニケーションの活性化
- ✓ 成長戦略を支える新しい発想

多様性・柔軟性のある企業は強い！

売掛金の回収…

取引先が売掛金を払ってくれません。
なんとかしたい！

契約書…

当社は、いままで注文書だけで取引してきましたが、やはり契約書を作った方がいいのでしょうか？

労働問題…

従業員からセクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメントでうつ病になったと言われました。どう対応したらいいのでしょうか？

新規事業…

魅力的な事業をしている会社を買いたいと考えています。どんな方法がありますか？

賃貸借…

当社周辺のオフィス賃料が下がっているようです。当社の賃料も下げてもらえることはできませんか？



活用例 弁護士の



模造品対策…

当社の製品とそっくりな製品を競業他社が販売しているのを見つけました。止めさせる方法がありますか？

ガバナンス？

「コーポレート・ガバナンス」「コンプライアンス」って何ですか？
当社も何かしなくてはいけないのでしょうか？

クレーム対応…

当社の製品を購入した人が毎日のように苦情電話を掛けてきます。どこまで対応しなければならぬのでしょうか？

事業承継…

末っ子に会社を継がせたい！
長男たちにはどう対応したら…？

経営者・担当者インタビュー

顧問弁護士編

業種：IT企業

顧問弁護士に依頼したきっかけについて教えてください。

海外企業との業務提携契約やライセンス契約が増えるなか、英文契約書の審査やドラフティングをする知識、ノウハウを十分に有している法務部員がないため、英文契約書の審査能力に優れた弁護士に依頼したのがきっかけです。

顧問弁護士が女性だということに抵抗感を感じますか？

まったく抵抗を感じません。どの法律事務所でも女性の弁護士は優秀な方が多く、丁寧な仕事をしていただけるという印象があります。

顧問弁護士が女性で良かったと思うことは？

お打合せにおいてもソフトな感じでご相談しやすい雰囲気があるのは良いと思います。かなり厳しいスケジュールの案件もあるのですが、ご無理をお願いしやすい態度であったり、スピーディにご対応していただいたので良かったと思うことがありました。

社内弁護士編

業種：米系IT関連企業

女性弁護士を採用したきっかけについて教えてください。

弊社は、男女を問わず、リーダーとしての、精神的なタフさ、常に勝利を目指す前向きな姿勢、そして、優れたコミュニケーション能力が備わっている人材を



求めています。弁護士の採用にあたっては、法律の知識・法律業務の経験を有しているだけでなく、リーダーとしての資質がある人材を求めます。その結果、このポジションに最適な人材を採用するに至りました。採用に際して特に性別の考慮はしていません。

社内弁護士が女性だということに抵抗感を感じますか？

全く感じません。採用に際しては、業務経験とリーダーとしての資質を最重視しており、性別には、全くこだわっていません。また、在宅勤務をはじめとする柔軟な勤務体系やITインフラも整備されていて、ワーキングマザーの要求にも応え得る職場環境があり、女性であることの不都合はありません。

社内弁護士が女性で良かったと思うことは？

女性をリーダーのポジションに据えることで得られるメリットはたくさんあります。まず第一に、多様な人材登用が進みます。人材の多様化が進めば、創造性が高まり、型にはまらないアイデアが多く生まれくることになります。第二に、女性の多くは組織・人を動かすソフトスキルを持っています。ある調査によると、女性の方が男性よりも、利害を調整し協働して物事をすすめる力、他者の力を引き出しつつ仕事をなしとげる力が勝っているそうです。法務部は、会社のリスク管理・コンプライアンスのために、会社の短期的利益や効率重視の姿勢と対立する場面でも、部門間の利害を調整してプロジェクトをすすめることが要求される部門です。弊社の女性弁護士は、多くのプロジェクトを他部署との相互理解を形成してすすめるソフトスキルを備えています。その点で、女性弁護士を採用してよかったと考えています。

